

# 令和2年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：ナシ黒星病（No. 4）

令和2年4月6日  
鳥取県病害虫防除所

表1 病落葉からの子のう胞子飛散状況（調査地点：鳥取県園芸試験場）

単位：個

月・半旬	令和2年	令和元年	平年 (平成28年～令和元年)
3・4	0	-	-
3・5	16	19	4.8
3・6	116	11	2.8
4・1	80	0	4.3
4・2		30	10.3
4・3		44	13.0
4・4		17	4.5
4・5		312	81.5
4・6		21	5.5
5・1		4	2.6
5・2		0	0
5・3		0	0
5・4		0	0
5・5		0	0
5・6		0	0

注) -は欠測。電動モーターを用いた吸引式胞子採集方法で実施。

表2 果（花）そう基部病斑からの分生胞子飛散状況  
（調査地点：鳥取県園芸試験場）

単位：個/雨水あたり

月・半旬	令和2年	令和元年	平年（平成22年～令和元年）
3・4	0	-	-
3・5	1.0	6.6	2.2
3・6	1.8	14.6	5.3
4・1	2.6	1.7	7.1
4・2		27.4	8.2
4・3		0	6.3
4・4		1.3	3.5
4・5		195.4	32.2
4・6		64.7	13.6
5・1		0*	1.6
5・2		0.8	2.2
5・3		0*	1.6
5・4		3.9	12.4
5・5		0*	69.3
5・6		9.1	14.5

注) -は欠測。\*は無降水のため調査未実施。平年値は、記載の期間のうち5年以上の観測値から算出。

## <情報の内容>

### 4月第1半旬調査結果

- ・病落葉からの子のう胞子の飛散量は、例年に比べて多かった。
- ・花そう基部からの分生子の飛散量は、平年並であった。

## <参考>

- ・子のう胞子採集方法  
病落葉（前年採集）100葉の上に設置した胞子採集機内にグリセリンゼリーを塗布したスライドガラスを静置（24～72時間）し、スライドガラスに付着した胞子数を調査した。
- ・分生子採集方法  
雨滴法（ロートを罹病した腋花芽の下に設置）により採集した雨滴中の胞子数を降雨日ごとに調査した。